

<2019年>

- 近況改め心境報告および将来の楽しみならぬ心構え
(志士の会 50周年記念文集)

【近況改め心境報告および将来の楽しみならぬ心構え】

“原発ジャック”が起きるかも?!を念頭に置いたのが45周年近況。しかし下段の「一番の…」の後に『懸念は』が脱落、その後の『穀倉地帯』が「穀物倉庫」と誤打されていたところを校正できずに意味?に。

さて政治の務めを果たさんと諸兄と道を異にして47年。“心配性”は癒えることなく世の流れは相変わらず持続不可能路線上。抑制きかぬ都市の肥大化を見立つるならば、人類はもう紛れもなく地球生態系の“癌”! そもそも地球環境問題が生じた時から、才能・背景に恵まれた者程少ない報酬で暮らしを立てる(自然力活用で金のかからぬ工夫ができる)のが理に沿うというものだが…未だに高き能力は高報酬で引き込む“組織”の“傭兵”となり(現場から離れて)“国益”、“資本益”のせめぎ合いの中で消耗、思考停止に。おかげで人類文明トータルシステムとしての最適解=持続可能社会へのシナリオは棚ざらし! 対症療法的なれども当面の政治の最大課題はマネーゲーム停止(社会的責任投資へ)、軍備改廃(人・天災害復旧、灌漑・耕作、自然修復へ)そして貧困・格差解消。夜明け前の闇に光を差すにはこれ以外あるまい。自給農事で命養い身辺整え、残る時間は課題実現に尽力するのみ。という次第で、勝手ながら今50周年の集いを拝借、諸兄への生前告別の辞としますが、九州を旅する折はどうぞお立ち寄りを!